

第 26 回全国少年柔道大会大阪府下予選会 結果報告

初戦突破するも 2 回戦で完敗

日時：平成 18 年 3 月 5 日（日） 10 時 30 分～

場所：大阪府立 修道館

大阪府下から 42 チームが参加し全国大会出場を目指し熱戦が繰り広げられた。
初戦の相手は名門の明武館田邊道場

	ダイヤモンド	VS	明武館田邊道場
	3	-	2
先鋒	河畑	(内股)	
次鋒	大林	(大外)	
中堅	井上	(払い腰)	
副将	藤原	(一本背負)	
大将	佐藤	(優勢負け)	

「戦況」

先鋒戦 試合開始まもなく河畑が内股で完全に一本で投げるも場外で無効。逆にその後すぐに場外注意を取られるも、中盤に再び内股で一本勝ち。この勝ちで試合の流れをつかむ。

次鋒戦 大林も大外刈で一本勝ち。この連勝で勝利に王手がかかる。

中堅戦 相手のポイントゲッター。引き分けたいところであるが、2 倍以上の体格差に持ちこたえられず、払い腰で一本負け。

副将戦 ここで勝って勝利を決めたい。藤原が積極的に攻め一本背負いで相手を見事に投げ一本勝ち。この瞬間、ダイヤモンドの公式戦での団体初勝利が確定する。

大将戦 もう一人のポイントゲッター相手に佐藤健闘し、一本負けはまぬがれるも優勢負け。

2 回戦は今大会の会場にもなっているシードの「修道館」と対戦。結果 0 - 3 で完敗であった。

感想

去年はこの大会に出場するのは時期尚早かなと思う位歯がたたなかつた試合であった。今年の名門道場相手の勝利の余韻を味わう間も無く、2 回戦の完敗であった。着実に成長している手ごたえはあるが、今後更に勝ち進んでいく為には、勝負に関しての「粘り・執念・しぶとさ」が必要であるとの大いなる課題にたどり着いた。来年度のチャレンジに向け自分の勝負に対する厳しさを持ち稽古に精進する。

以上

2006.3.6 報告者 小松 睦弘